

館報

おみ

11月号
No.692

2024.11.25 (令和6年) 編集と発行／長野県東筑摩郡麻績村公民館
TEL 0263-67-2240



▲ちびっこ消防団発足式（地域交流センター前（11月8日撮影）

芸術と文化の秋を楽しむ 令和六年度 文化祭開催

令和六年度文化祭を十一月二日、三日の両日にわたり、地域交流センターを主会場に開催しました。

初日の午後には、芸能発表会があり、筑北中学校吹奏楽部と麻績小学校ダンスクラブが始まり、その後も各クラブが日頃の練習の成果を発表しました。

発表された団体は、次のとおりです。

- ・筑北中学校吹奏楽部
- ・麻績小学校ダンスクラブ
- ・カウルリコ
- ・寺澤フラスタジオ
- ・民謡民舞善の会
- ・愈（いよ）の会
- ・OMI ZUMBA
- ・日舞利久会
- ・アルプホルンを吹く会
- ・ピアノを楽しむ会
- ・童謡を歌う会

二日目には、善光寺街道歩き旅イベント「善光寺街道初級講座」と「囲碁大会」を開催しました。

初級講座は、横路淳さん



▲善光寺街道を語る
(善光寺街道初級講座)

(坊平)が講師となり、集まった皆さんに、地名や文化財といったポイントごと説明されていました。

囲碁大会は村内外から参加者が集まり、熱戦が繰り広げられていました。

囲碁大会の結果は、次のとおりです。

Aリーグ

- 優 勝 滝澤伸夫(筑北村)
- 準優勝 刈間永伯(坊平)
- 第三位 中嶋光夫(安曇野市)

Bリーグ

- 優 勝 尾沢正幸(岡谷市)
- 準優勝 村田洋祐(松本市)
- 第三位 田口公一(安曇野市)

総合優勝 尾沢正幸(岡谷市)



▲映像による紙芝居を放映



▲次の一手は(囲碁大会)

作品展示では、麻績小学校児童、筑北中学校生徒や各団体と個人作品が展示され、おみ図書館のリサイクル市、紙芝居の会は映像による三作品の紙芝居放映を行うなど新たな取り組みもあり、芸術と文化の秋を味わうことができた二日間となりました。



▲写真や児童クラブ作品などの展示



▲茶道クラブのお茶席



▲絵画や書道、個人作品などの展示



▲ピアノを楽しむ会による迫力の「ルパン三世のテーマ」



▲麻績小学校ダンスクラブは華麗なダンスを披露



▲筑北中学校吹奏楽部による息の合った演奏

また今回は、麻績学舎（旧麻績小学校北校舎）で、「アトリエどんぐり二十年展」を開催しました。

二十年間の作品を生徒から募集し、集まった作品を年代ごとに展示しました。

この二十年展に関して寄稿がありましたので、紹介します。

**アトリエどんぐり
二十年展から
見えてくるもの**

令和六年十一月二日と三日の両日、麻績学舎で開催された二十年間のアトリエどんぐりの児童、園児による絵本が主宰者の市野川の久保田優子さんにより公開されたことは、きわめて稀有な教育文化活動として、高く評価される偉業である。



▲年代ごとに絵本が並ぶ

あらひ哉』が刻まれている。戦後には太和屋の裏千家匠臼井隆先生の茶道教室には、松本や長野から弟子が大勢つめかけている。

アトリエどんぐりは、こうした絵画教室であり、放課後の児童の居場所として、地域の子どもたちに愛され続けてきたのである。

子どもたちが描いた絵本は、絵が洪水となり会場一杯に迫ってくる。話しかけて来る。あるいは、コーラスや独唱となつて迫ってくる。その感性、想像力、想念などが所せましと描かれていく。ドラえもんや鬼滅の刃、アニメの世界の住人



▲大人になってからの作品も展示

お見事なのは、優子先生の製本作業。一枚一枚の絵を無駄にしないよう冊子にして閉じて製本し、絵本として保存している。子どもたちの夢の詰まった一枚の絵本の重みは、その子どもたちしか、わからないものである。にやんちゃん一匹、馬頭観音一点にしても、そこにはその当時の十歳が見た感性が憧憬として愛情がこめられて描かれているの

が描かれていく。にやんちゃん、お地藏様、どこで覚えたかクラゲ、ムササビ、ゲンゴロウ、田舎ならではの感性か。



▲地域交流センターには令和6年の作品を展示

である。

二十年間に描かれ残された一枚の絵画の存在感は、小学生の人生の通過点であり、その作品が良くも悪くも自分の認識の姿を投影したものに他ならないのである。

令和の時代は、麻績の子どもたちも附属中学へ進学を希望する生徒が出て来る時代である。

絵本として残された少年時代の叙事詩が、アトリエどんぐりの先生の愛のこもった配慮で残され、今こうして手にする喜びを味わう幸せに感謝しよう。

「寄稿」上町 刈間 豊



民意で選ばれた県会議員に全会一致で不信任決議を出され失職した知事が、出直し選挙で再選された。これもまた民意の結果である。

しかし、「はて？」と思う人は多いのではないだろうか。各社の新聞報道によるとSNSを通じて支持が一気に拡大したことが勝因と書かれている。

SNSの情報は本当に100%信じられるものなのか？SNSの情報は検索履歴などから個人の好みを優先的に表示する機能があるため、好意的な意見だけが表示される場合も少なくない。反対意見も検索することが大事だと思う。最近ではテレビや新聞の報道も信じられないという人も多くいる。詐欺もそうだが、正しい話には嘘が多い。

これからの時代は、物理的な物だけではなく、見えない情報にも危険予知訓練が必要なのかも知れない。

『スポーツの秋』特集

悔しさをバネに
元陸上選手が語る
夢の教室

日本サッカー協会が主催する「夢の教室」が十一月十四日に行われ、麻績小学校五年生に授業を行いました。

今年の「夢先生」は元陸上選手の高橋萌木子（ももこ）さん。中学校在籍時はソフトボール部に所属しながら陸上競技にも取り組み、陸上競技の全日本中学校選手権では200mで優勝。



▲みんなで団結



▲高橋さんによる講義

高校からは本格的に陸上競技を始め、高校三年間インターハイ100mでは、史上初となる三連覇を成し遂げ、大学でも数々の日本記録を更新した方です。最初は小学校体育館でチームワークゲームを行い、その後、場所を教室に移して講義が行われました。高橋さんが陸上を始めたきっかけ、負けた時の悔しさを忘れずに努力をすることの大切さを語り、子どもたちも高橋さんのお話を聞き入っていました。

現役選手による
麻績保育園野球教室

多くの園児たちに野球に興味をもってほしいと、十一月二十二日に麻績保育園で、信濃グランセローズに所属する、現役選手の三原田京成選手（筑北村日本ウエルネス長野高校卒業）と宮口ヤン選手による野球教室が開催されました。

準備体操をしてから、ボールの投げ方、ストラックアウトやバッティングを教えてもらい、園児たちは、はじめての野球を楽しむことができました。



▲はじめてのバッティング



▲ど真ん中を射抜く

第六回ふれすぽ
フラバールバレ

今年度最後のふれすぽを十一月十七日、麻績村体育館で開催しました。

今回は、球でも楕円でもない不思議な形のボールを使う競技の「フラバールバレ」です。

前半は、ルールを覚えながらボールを使って練習をし、後半は、試合形式で皆



▲ボールはどこへ行くのかな？

さん楽しくプレーをしていました。

好天に恵まれた
村民ゴルフ大会

第二十六回村民ゴルフ大会を十月二十七日、南長野ゴルフ倶楽部で開催しました。出場した四十人の選手たちは、すがすがしい秋空の下で、楽しくプレーをしていました。

結果は、次のとおりです。
優勝 市川 和男(明治町)
準優勝 峯村登志夫(下井堀)
第三位 関崎 賢一(桂)
ベストグロス賞

峯村 尚(下井堀)
レディース賞

刈間きよ子(上町)



▲難しいバンカーからのリカバリー

元氣通信!!

今月の小・中学校

麻績小学校

十月十八日に第二回「おみっこミュージックフェスティバル」が盛大に行われました。今年も保育園児から中学生までそれぞれ個性豊かな感動のステージを発表していただきとても嬉しく思いました。それぞれの年齢や学年に応じた合唱、合奏、ダンスなどがあり、麻績村の子どもたちの成長やつながりが感じられる音楽会となりました。

今年麻績小学校を会場としましたので、体育館の



▲保・小・中の子どもたちが一堂に集う



▲麻績小金管バンドと筑北中吹奏楽部の共演

狭さから観覧数に制限をかけた、制限を外したりと二転三転してご迷惑をおかけしました。

昨年度は中学校で行いましたが、児童の送迎や楽器の運搬など大変さを考え、今年度は負担を少しでも軽くするために小学校を会場とさせていただいたためです。当日は、観覧席も保護者の皆さまに譲り合っていたきながら大きなトラブルもなく無事開催できましたこと、深く感謝申し上げます。

「おみっこミュージックフェスティバル」はまだまだ

試行錯誤の段階です。保護者や地域の皆さまのご意見をいただきながら、子どもたちのパフォーマンスを第一に、これから益々よりよい音楽会を作り上げていきたいと思えます。これからもご支援ご協力をお願いいたします。

筑北中学校

六年生の体験入学

一年 岩永 康介

先日、体験入学で六年生がやってきました。最初、僕たちにとって、六年生は人数が多いのでドキドキしていましたが、楽しい一日になると期待していました。六年生が学校に来て、朝の会を一緒にしました。緊



▲麻績小六年生に筑北中の行事を紹介

張していましたが、結構馴染めました。一時間目は一緒に学校探検や筑中紹介、クイズなどをしました。僕はクイズ担当だったので、話がすごく楽しかったし、話すのも楽しくて、時間がすぐ終わりました。

その後は給食も食べました。いつもよりテールが多くて、ちょっとびっくりしました。二日間とても楽しかったです。

六年生との運動会

二年 塚原 尊

今回の運動会は、十一月に、中学校体験で来た六年生といっしょに運動会をしました。運動会で一番心に残っているのは、「洗濯日和」です。「洗濯日和」は、洗濯物を干す人と、洗濯物をとってたたむ人に分か

かれ、交代して走りました。最初のリハーサルでは、難しかったけれど、やっていくうちに上手にできたので良かったです。本番では最下位になってしまったけれど、一人一人ががんばってやっていたのがすごく良かったです。来年も楽しく運

動会がしたいです。
運動会を終えて

三年 吉野 円寧

私は運動会を計画していく側として、担当の役員や先生方と準備してきました。運動会当日では、少し肌寒い中でしたが外で実施することができました。小学六年生の児童も参加しての運動会だったので、とても活気がある楽しいものとなりました。

特に、私が計画を担当したりリレーの種目は、一人一人が一生懸命走ってバトンをつないだり、応援し合ったりすることで更なる結束力が生まれたと思います。無事に最後までやり遂げることができて良かったです。



▲麻績小六年生と一緒に運動会

麻績の神社と 薙鎌信仰について

はじめに

村誌上巻第五章近世の麻績・第十節神社と寺院・一、神社・主な神社として、日向神社（旧村社・高）がある。

宝物の項に「薙鎌【なぎがま】数口（一口は天文期（一五三二）一五五四年）以前のもともという）・神鏡・刀剣各一」と記されている。

この薙鎌の調査が、令和五年五月二十九日、長野県立歴史館（千曲市）の笹本正治特別館長によって行われた。

六月六日「日向神社の薙鎌について」調査報告書が教育委員会に届いた。

報告書の要旨は、「村誌に天文と記されているものは、確実に江戸時代以前の薙鎌である。」…それ以外の薙鎌は「近代鳥形の薙鎌である。」…と記している。

館報おみ・昭和五十年十二月発行の第一〇五号「郷土史をたずねて・日向神社」

の記事に古老の話として「…当社には神宝として鎌（ナギナタガマ）があるが…そのもっとも古いものは、諏訪大社の宮司さんの説明によると、全国にあまり類例が見られず、数少ないものだ」と云われている。」と記されている。

麻績村の神社には、現在までの調査で、矢倉諏訪神社・市野川神社にも所蔵されている。

「奇怪な鎌」の正体を中心に「麻績の神社と薙鎌信仰」について考察する。

神社の起源

日本古来の神々は、八百万【やおよろず】の神といわれ、あらゆるものに神が宿ると考えらえた。

神社本庁包括の神社だけで約八万社、長野県には、二四五六社あるという。

麻績村では、村誌に、主な神社として十三社が記され、石造文化財では、神道系諸神として四十七神・二十七社とある。

神社の起源は、縄文時代前期（紀元前四五〇〇年）…堅穴式住居をつくり、

集団生活を営むようになったところと推考される。

日（陽）・風・水・山・森・樹木（老木）・石・磐などを対象として、農耕に関わる「自然崇拜」で、豊かな実りと、感謝を祈ったり、「祖先崇拜」に始まるものが多いという。

また、悪疫を防ぎ、安産と子孫繁栄・豊穡などの呪術に使ったと推考される器物も盛んに作られる。

茅野市の「仮面の女神」、「縄文のビーナス」、佐久穂町の男性器をかたどった国内最大の長さ二・三mの石棒などが出土している。

木を立てた遺跡には、塩尻市女夫山ノ神遺跡（八本の柱跡）がある。石を立てた県内の遺跡には、大町市上原遺跡（環状列石）、塩尻市平出遺跡（弧状列石）、松本市四賀井刈遺跡、安曇野市穂高離山遺跡などがある。

青森市の世界遺産である三内丸山跡には、直径一メートルの巨木六本が建てられていた。構造物があったと推考されている。

古代には、社殿は無く「石」や「木の柱」が、神霊が降りるための憑代とされ、信仰の拠り所としたのだろう。

その名残りは、現代の麻績にもある。

諏訪神社（旧村社・矢倉）の御柱（柱のまわりに榊木四本をたてる）・村内各神社の御神木、地鎮祭（とこしずめのまつりともいう）に建てる神籬【ひもろぎ】・斎竹、三九郎の斎柱（櫟【くぬぎ】・竹など）・麻績神社では、かつての巨大な御神木であった榊の切株の上に社殿が鎮座している。榊が顕在の頃は神の憑代であった。

石造物では、住民に馴染む一般に道陸神【どろくじん】と呼ぶ道祖神がある。「さゝえのかみ」・「さいのかみ」ともいわれている。

広辞苑には「道路の悪霊を防いで、行人を守護する神」とあるが、縁結び、夫婦円満、子孫繁栄、豊穡など住民と結びつきが深い神である。

麻績村には、五十九基が

あり、最も多いのは、双体像三十四基、文字碑十六基、豊穡多産のシンボル陰陽石もある。日本で、社殿がつくられるようになったのは、伊勢神宮・出雲大社が鎮座した頃と推考される。

麻績では、麻績神明宮が最も早いと考えられる。

村誌の由緒によれば、伝承として「…白鳳二年（六五一年）今の地へ遷座し、豊受比売ト奉祭ス」とあるが、根拠は明らかでない」と記されている。

神社誌年表によれば、永承年間（一〇四六―一〇五三年）麻績・仁科両御厨が置かれ、神明宮が鎮座されたものと推定される」とあり、社殿がつくられたのも同時と考えられる。

麻績村内の各神社も、これ以後創祀されたものと推考される。

今後、信州大学の協力による村内各神社の全体調査を実施する予定であるので、明らかになるだろう。

「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸



▲魔女に食べられちゃう…！とビクビクしていました

ハロウィンお話し会
ハロウィンにまつわる「オバケ」をテーマとしたお話し会を、十月二十八日に行いました。
未就園児のほか、保育園から、すずらん組の園児が参加しました。
魔女の人形に「きみたちとても美味しそうだね」と声を掛けられると、ちよっぴり怯えていましたが、お話し会が終わる頃には笑顔を見ることができました。
お話し会の中でも一番盛り上がったのは、パネルシアター『くいしんぼおばけ』でした。



▲切ると目が痛くなるものな—んだ？？

「おばけが夜中に冷蔵庫を開けて食べている物はなあに？」と、クイズが加わった内容に、園児が素早く、楽しい返答を連発して、読み語りの演者も思わず笑ってしまうほどでした。
終了後の子どもたちの笑顔を見ると、心が温かくなりました。
たくさんのご参加をいただきありがとうございます。
本のリサイクル市開催
恒例のリサイクル市を今年も村民文化祭で行いました。
初日はあいにくの雨模様



▲げんこつが落ちてきちゃう！

でしたが、開場直後からたくさんの方に来場していただきました。
本に新たな価値を見つけ、お持ち帰りいただきます。ありがとうございます。
今回は雑誌と絵本が人気でした。楽しい時間のおともになると嬉しいです。
お話しを楽しむ会
横屋地区在住の飯森ひろ子さんを講師にお迎えしてテーブルシアターや素話、絵本などお話しの世界を楽しみました。
来場した保育園児達も夢



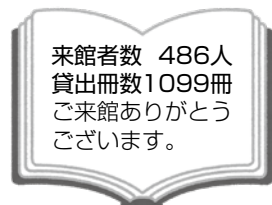
▲初日の賑わい

中になつてお話しに入り込んでいました。
麻績小学校図書館だより
相手の気持ちを考える
十一月は、なかよし月間です。「おもいやり」をテーマに学年ごとにめあてを決め、お互いが気持ちよく生活できるように、意識して取り組んでいます。
そこで人権教育関係の本を読み語りました。その中から一冊を紹介します。
『やわらかければだいじょうぶ』です。
この本では、相田みつをさんの詩を引用し、「セトモノ」とセトモノ、ぶつかりっこすると、すぐこわれちゃう、どっちなやわらかければ、だいじょうぶやわらかいところをもちましよう、そういうわたしは

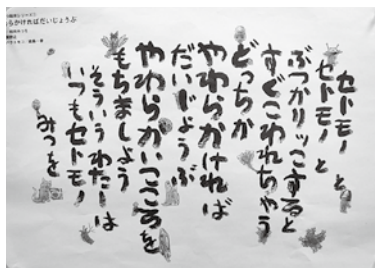


▲人形の動きにくぎづけ

10月の図書館



来館者数 486人
貸出冊数1099冊
ご来館ありがとうございます。



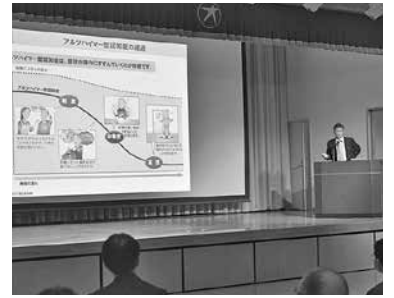
▲やわらかければだいじょうぶ

いつもセトモノ」と最後にドキリとさせられる一文で締めくくっています（これは何年か経ってから付け加えたのだそうです。より自分事として伝わりやすね）。
感じ方の違いを、寛容な心で「そういう考え方もあるのだな」と受け入れることができれば、お互いに嫌な気持ちにならずに過ごせるといふもの。
分かっているけれどもなかなかできない事ですが、心に留めておきたい詩です。

信州大学医学部講演会

「認知症…その原因と治療について」をテーマにした信州大学医学部保健学科教授である矢崎正英先生による講演会を、十一月十六日に地域交流センターで開催し、六十人が参加しました。

認知症は脳の病気で、症状の中心となる記憶障害（物忘れ）には、数分前のことを忘れてしまう近時記憶障害と、「ご飯を食べた」といった体験自体を忘れてしまうエピソード記憶障害が主で、朝ごはんのおかずを忘れるといった、「加齢に伴う物忘れ」とは違いがあります。講演では、認知症の症状の説明や検査や治療についてのお話がありましたが、認知症に似ている症状があっても、うつやホルモン異常といった違う病気や手術で良くなる病気の場合もあるため、記憶障害が出てきたら認知症と決めつけずにまず検査を受けること。アルツハイマー型の認知症は症状が出る十年ほど前から脳の異常が始まり、



▲記憶障害（物忘れ）が出てきたらまず検査を受けましょう

生活習慣病とも関係があるので動脈硬化につながる高血圧、糖尿病、高脂血症は積極的に治療すること。

そのほかの予防については、週三回以上の運動習慣、青魚や緑茶の摂取、アルコールを飲みすぎないこと等があげられていました。治療薬も徐々に開発されつつあるということですが、使うタイミングや認知症の種類が限定的で価格も高額ということでした。

最後に、認知症の人と関わる方へのアドバイスとして、記憶力が低下しても感情は残り、しかも、「喜び」の感情は消えてしまい「嫌」なことだけ残る。しかし、どうして嫌だったのかは忘れてしまい、「嫌だった」という感情だけが残る

るので、認知症の人には、安心感を与えること、否定をしないことが大切だと話されていました。

ひだまり広場

親子でハロウィン

お菓子をくれなきゃ
いたずらしちゃうぞ〜！

ひだまり広場では、毎年この時期には、親子でマントを作って仮装し、近所を回ってお菓子をもらって異国の文化に触れることを楽しんでいます。

今年度もハロウィンのお話を何回か聞いたたりしているうちに知らないうちに覚えた「トリックオアトリート



▲ハッピーハロウィン！

ト」という英語を訪問した役場でも親子で大きな声で言って村長さんからお菓子をいただきました。ちょっと緊張していた子どもたちもお菓子をもらうときはニコニコ笑顔でもらっていました。

村や教育委員会など、三か所でした。ひだまり広場に戻って、ほっと一息もらったお菓子をおいしそにほおばっている子と母のほっこり温かいひと時でした。

「麻績かるた」

「麻績村トリビア」

⑤三山を

日毎仰ぎで
精を出し



北西にそびえる見晴らし最高の「聖山」、南には伝説と信仰の山「四阿屋山」、

東は月をいただき端正な「冠着山」、これが筑北三山です。

さて、この三山がすべて見える場所があるのでしょいか、方角が違うので一目では無理でも見回して三山、山とは面白いもので、近付くと全容がわかりにくくなる。手前の小山に隠れてしまふことも。

あなたの家からは、どの山が見えますか？

公民館行事の予定

第九回麻績字級

日時 令和七年

一月二十三日（木）

内容 ボードゲームを楽しむ『新春ボードゲーム大会』

講師 滝沢武士さん

おみ
の
あ
こ
し

ご冥福を祈る

宮下かよ江 88歳 梶浦
金山 泰子 72歳 上町
花岡 長男 88歳 野田沢